

1.2 MADeワークフローに掲載されている分析

MADeワークフローでは、以下の分析を実施する際の手順を記述しています。

- 故障分析
FMEAやFTAによって故障の根本原因を探索できます。
- 信頼性分析
部品の故障分布を設定することで、システムの信頼度や稼働率を算出できます。
- MCE (Maintenance Cost Estimates)
部品のメンテナンス方法や費用を設定することで、システムのメンテナンス費用を見積もります。
- Classic RCM
重要な部品に対して、ロジックツリーを用いて最適なメンテナンス方法を分析できます。
- Back-Fit RCM
部品に対して実施されているメンテナンス方法の有効性を検証し、改善することができます。
- PHM分析
システムの故障を検知するのに最適なセンサー位置（センサーセット）を分析できます。
- 最適なセンサーセットの選定
PHM分析で得られた複数のセンサーセットを、重量やコストなどで比較できます。